

山口県感染症発生週報 (第26週:2023年6月26日～7月2日)

1 全数把握感染症

- 【2類感染症】
 - ・結核:4例(周南3、宇部1)
- 【5類感染症】
 - ・百日咳:1例(岩国)

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・インフルエンザ:県全体の報告数が増加しました。迅速検査診断結果でA型陽性が38例、臨床診断・型不明が82例ありました。
- ・新型コロナウイルス感染症:県全体の報告数が増加しました。
- ・RSウイルス感染症:県全体(すべての地域)で発生が多い状況です。
- ・手足口病:宇部で警報レベルが継続しています。[警報レベル:宇部(3週目)]
- ・ヘルパンギーナ:宇部で増加し、警報レベルとなりました。周南、山口、萩で警報レベルが継続しています。[警報レベル:周南(4週目)、山口(3週目)、宇部(1週目)、萩(5週目)]

※警報レベル・注意レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2013/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

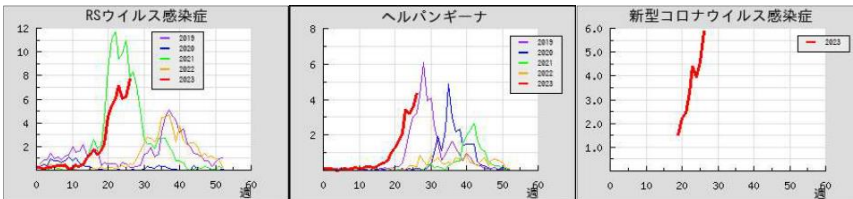
疾患名	24週	25週	26週	疾患名	24週	25週	26週
インフルエンザ	130	94	120	ヘルパンギーナ	137	153	186
新型コロナウイルス感染症	263	305	394	流行性耳下腺炎	9	10	0
RSウイルス感染症	260	268	331	急性出血性結膜炎	0	0	0
咽頭結膜熱	12	17	14	流行性角結膜炎	4	2	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	66	50	クラミジア肺炎	0	0	0
感染性胃腸炎	259	186	196	細菌性髄膜炎	1	0	0
水痘	3	3	1	マイコプラズマ肺炎	4	4	2
手足口病	57	86	85	無菌性髄膜炎	1	0	0
伝染性紅斑	2	0	0	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0
突発性発しん	19	12	9				

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	49	1	1	49	0	3	17	0	0	120
新型コロナウイルス感染症	90	70	20	61	47	65	32	4	5	394
RSウイルス感染症	30	53	3	97	17	23	89	5	14	331
咽頭結膜熱	2	7	1	4	0	0	0	0	0	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	21	8	12	0	0	3	0	0	50
感染性胃腸炎	13	4	11	84	3	22	49	0	10	196
水痘	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
手足口病	5	9	0	8	7	4	52	0	0	85
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	1	0	0	2	0	2	4	0	0	9
ヘルパンギーナ	27	2	5	32	17	17	78	0	8	186
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 トピックス

- ・「RSウイルス感染症」が県内すべての地域で流行しています。また、多くの地域で「ヘルパンギーナ」が警報レベルとなっているなど、小児感染症への注意が必要な状況です。
- ・新型コロナウイルス感染症の患者数は、2週連続で増加しています。



4 病原体検出等情報(臨床診断名:検出された病原体)

- ・RSウイルス感染症(2例):パラインフルエンザウイルス3(咽頭ぬぐい液:第25週採取)、ライノウイルスC(咽頭ぬぐい液:第25週採取)
- ・感染性胃腸炎:アストロウイルス4(ふん便:第25週採取)
- ・手足口病:コクサッキーウイルスA6(咽頭ぬぐい液:第24週採取)